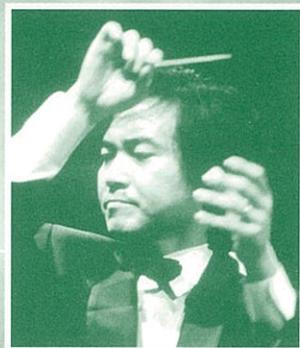


第9回

春日井市交響楽団定期演奏会

The 9th Regular Concert

指揮 竹本泰蔵



ピアノ
エンリカ・チッカレツリ



管弦楽 春日井市交響楽団

~~~~~ 曲目 ~~~~~

ロッシーニ作曲 / 「セヴィーリアの理髪師」序曲

モーツァルト作曲 / ピアノ協奏曲第24番・ハ短調

ブラームス作曲 / 交響曲第4番・ホ短調

2000年7月9日(日) 15:00開演 14:00開場

春日井市民会館 入場無料 (整理券が必要です)

指揮:竹本泰蔵(たけもと たいぞう)

1956年(昭和31年)神戸生まれ
1977年(昭和52年)カラヤン・コンクール・イン・ジャパンで、ベルリン・フィルを指揮、第2位に入賞。
1981年(昭和56年)の名古屋フィル アシスタント・コンダクター就任を経て、現在コンサート、オペラ、バレエ、ミュージカルの公演指揮の他、編曲、ラジオ番組でパーソナリティーを務める等、多方面に活躍中。



【主な活動】

コンサート 札幌交響楽団、東京フィル、日本フィル、新日本フィル、名古屋フィル、京都市交響楽団、関西フィル等で、数多く指揮。

オペラ 「ラ・ボエーム」「トスカ」「トゥランドット」「魔笛」「フィガロの結婚」「カルメン」等、公演指揮。

バレエ 「白鳥の湖」「くるみ割り人形」「眠りの森の美女」「ドン・キホーテ」「ジゼル」「バフチサライの泉」「シンデレラ」「コッペリア」「パヤテール」「ラ・シルフィード」「石の花」(日本初演)等、公演指揮。

ミュージカル 「サウンド・オブ・ミュージック」「メリー・ウィドウ」「狸御殿」(以上宮本亜門演出)「漂泊者のアリア」(栗山民也演出)「回転木馬」「アニー・ボートメイ」等の音楽監督、指揮。

放送・その他 FM愛知「東邦ガス・ホームミュージック」(レギュラー出演中)「ファンタジア・シネマ・ライヴ」(指揮・音楽ディレクター)「谷啓のオーケストラの積み木あそび」(指揮・解説・音楽監修)NHK「中学生日記」(出演)等、多数。

その他に、ポップスコンサート、編曲、等。

ピアノ:エンリカ・チッカレッリ



その華やかな技巧と優雅な容姿で、いまイタリアでもっとも人気のあるピアニスト。ミラノのヴェルディ音楽院でピアノとオルガンを学び、ローザヌ・アカデミーのマスタークラスで、ジャン＝ベルナルド・ポミエールにピアノを、セルゲイ・チェルビダックに音楽現象学を学びました。

彼女は内外の有名なオーケストラと協演し、プラハ・シンフォニー・オーケストラやモルドヴァ・国立オーケストラやクロード・シモーネの指揮するイ・ソリスチ・ヴェネチなどとの演奏はいずれも好評を博しました。アゴーラから、プロコフィエフとラフマニノフとムソルグスキーの作品など、数々のCDを出しています。クララ・シューマンの協奏曲で音楽雑誌「ムカ」賞を贈られました。

今年は、この春日井での公演を中心に、韓国・香港・タイでも演奏会が予定されています。また、アルゼンチンで国立オーケストラとの協演やニューヨークでベルリーナ・シンフォニカとの協演、ベルギーのブルツェル音楽院でラフマニノフの「ピアノ協奏曲第2番」も計画されていて、急速に国際的な活躍の場が提供されています。初来日。

管弦楽:春日井市交響楽団

1990年に春日井市の音楽愛好家を中心に設立された市民オーケストラです。今年で創立10周年を迎えます。これまで、毎年、夏には定期演奏会を開催し、冬には「春日井市民第九演奏会」に出演するほか、「菖蒲コンサート」(桑名西ロータリー主催:1998年6月)や「菊華コンサート」[(社)春日井建設協会主催:1999年9月]をはじめとして、愛環音楽連盟の中心的なオーケストラとして「第二回愛環音楽祭」(2000年3月)を開いてきました。優れた指導者やソリストと共に、多くの仲間と演奏できる喜びを大切にしながら、「より多くの市民に、より優れた音楽を」が私たちの願いです。これからも春日井市交響楽団をよろしくご支援下さい。(団長:花村浩克)

ぜひ、おいで下さい

今回のカポ(春日井市交響楽団)の定期演奏会は、難曲のブラームスの「交響曲第4番」を中心に据えて、陽気で軽快なロッシェーニの《セヴィーリアの理髪師》序曲とモーツァルトのピアノ協奏曲の中でも最も深い音楽性を持つ「第24番八短調」を演奏いたします。指揮は、竹本泰蔵さん。それぞれに性格を異にする三つの名曲を、それぞれに、音楽的に、構成的に、様式的に、音響的に、劇的に、見事に構築していきます。竹本さんの指揮の下、これまでにない、カポの多彩で充実した響きをご期待下さい。

ピアノは、中部大学と春日井市交響楽団がイタリアから招いたエンリカ・チッカレッリさん。国際的に活躍する人気ピアニストの初来日です。豊かな音楽性とベルカントの「歌」ときらびやかな音色は、その美しい容姿と相まって、また新たな、「カポ定演神話」を創りだすことでしょう。心を合わせて演奏する「協奏曲」は、また同時に、歓喜と陶酔を奏でる「狂騒曲」であり、互いに技術を競う「競争曲」であり、優れたソリストを招いての「共奏曲」でもあります。それで、わたしたちは、みなさま以上に、エンリカさんとの「キョウソウ」を楽しみにしているのです。「ミスター・クレッシェンド」といわれたロッシェーニの代表的な序曲《セヴィーリアの理髪師》は、天国にまで届く長いクレッシェンドの階段を、踊りながら、歌いながら、おしゃべりしながら登っていく、夢のイタリア音楽観光旅行です。その速くて爽快なテンポは、人間のもつあらゆる悩みや苦しみや感傷を押し流して進みます。ときには、私たち演奏者の技術までもさらっていくので油断ができません。そして、ブラームスです。これまでに、カポは定期演奏会で、ブラームスの四つの交響曲のうち「第1番」と「第2番」を演奏してきました。おかげさまでどれも好評でしたが、私たちにとって、深い満足感を覚えるものではありませんでした。あの2拍子と3拍子が入り交じる複雑なヘミオラのリズムとハイ・ポジションの速い音型が連続する弦のフレーズと微妙なニューアンスを要求してくる管の奏法は、熱心な団員が半年にわたる毎日曜日の練習をもってしても、容易に克服できるものではありませんでした。でも、今回は違います。四曲の中で最も難しい「第4番」ですが、これまでのブラームス実験と8回の定演経験と7回の「第九」体験があります。たくさんアマチュア仲間参加もあります。10周年を迎えたカポの矜持もあります。それを、ぜひ、多くの春日井市民のみなさまに聴いていただきたいのです。お待ちしております。(音楽監督:都築正道)

整理券… 市民会館、市役所2階情報コーナー、文芸館2階文化情報プラザ、東部市民センター、各ふれあいセンター、各公民館で6月20日から配布します。又は、往復ハガキにて「春日井市交響楽団事務局」までお申し込み下さい。

お問い合わせ… 春日井市交響楽団事務局 〒487-8501 春日井市松本町1200 中部大学内 TEL(0568)51-1111
春日井市文化課 TEL(0568)85-6079

主催/春日井市交響楽団 共催/春日井市 後援/愛知県教育委員会・春日井市教育委員会・中日新聞社